

横浜市立東俣野特別支援学校 学校評価報告書 (令和3年度版)

重点取組分野	令和3年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	①多様な児童生徒の実態に合わせた教育課程の編成を行います。時間割や指導形態、各教科の学習内容の検討をします。 ②新学習指導要領を踏まえた授業改善を定期的に行うために、授業の計画や反省を充実させます。	①実態把握を丁寧に行ったうえで集団及び個々に合った授業内容を学校全体で考えて実践をした。②評価の三観点をふまえ、個々の実態に応じて内容と目標を設定し、授業に取り組んだ。また、学級全体で振り返りを行い、共通理解と授業改善を行うよう努めた。	B
豊かな心	①東俣野小学校との交流に関して、コロナ禍であることを踏まえながら、充実した活動を創意工夫して実施します。 ②教職員の人権意識を高め児童生徒の自尊感情を育む指導を行います。	①コロナ禍で直接の交流は難しかったが、共同制作、動画や手紙の交流に加え、オンラインでつながるなど工夫しながら実施した。 ②研修等を通して教職員の人権意識を高め、人権的な視点をもって児童生徒の自尊感情を育む支援、指導を行った。	A
健やかな体	・特色ある学校づくりをめざし、他分野の取り組みにより集中するため、令和3年度の具体的取組みは設定しない。 (*ただし昨年度、一昨年度の取り組み等は継続する。)	・昨年度の取り組みを継続中のため、今年度の自己評価は行わない。	*
専門性の向上	①ICT機器の活用の充実を図り、一人1台の端末を教育活動の中で有効活用し、コミュニケーションや興味関心の広がりを目指した教育活動を展開します。	①タブレット端末の使用ルールや管理方法を決めた。様々な場面でオンラインサービスや知育アプリ等を活用し、コミュニケーション及び興味関心の広がりを目指した授業作りにつながった。また、ICT関連の周辺機器を揃え、様々な場面で活用できるように整備した。	B
開かれた学校	①学校運営協議会を10月設置を目指し、準備をします。 ②学校運営協議会を通し、地域や関係機関の方とともに学校の現状や課題を共有します。 ③保護者に対しPTA定例会など迅速かつ正確な情報提供を行います。	①学校運営協議会を設置し、第1回学校運営協議会を開催した。②学校経営案の説明と中間報告、授業見学を通して現状の共有を図った。③WEBを使いながらPTA活動を継続し、情報提供に努めた。また、行事等の変更の際はPTA役員と報告相談しながら進めた。	B
安心・安全な学校	①新型コロナウイルス感染症対策として市教委からの通知を基に、本校の感染症対応ハンドブックづくりを通し、感染症予防に努めます。 ②危機管理マニュアルの見直し、防災防犯に対する備品の充実を図ります。	①通知等を参考にしながら、感染症対応ハンドブックの見直しと修正を行った。②必要物品等を購入して備品の充実を図った。コロナ禍においてできる範囲で防犯研修、避難訓練等を実施し、職員の危機管理意識向上に努めた。危機管理マニュアルは、整備検討中である。	B
キャリア教育	①「キャリア教育段階表」を校内で周知し、授業に活用します。 ②キャリア教育の視点で小学部、中学部、高等部の学部を意識し、連続性・系統性のある指導を行います。	①高等部では「キャリア教育段階表」を活かして、授業に取り組んだ。今後は他学部でも取り入れていく。②各学部において児童生徒のキャリア発達に応じて連続性・系統性のある指導ができた。今後は自分づくりパスポートを活用しながらさらなる充実につなげていく。	B
センター的機能	・特色ある学校づくりをめざし、他分野の取り組みにより集中するため、令和3年度の具体的取組みは設定しない。 (*ただし昨年度、一昨年度の取り組み等は継続する。)	・昨年度の取り組みを継続中のため、今年度の自己評価は行わない。	*
いじめへの対応	①日々のクラスでの反省を充実させ、児童生徒の小さな変化を見逃さずに共有し、対応できるようにします。 ② 毎月の連絡調整会において、いじめや人権に関わる事案の確認を行います。	①各クラスの日々の振り返りで、いじめのことも含めた確認を行った。 ②部会では、月に1回いじめや人権に関わる内容を話題にして周知を図った。	B
人材育成・組織運営(働き方改革)	①働き方改革として業務の効率化を図ります。特に会議の持ち方、回数を精選し、教材研究のできる時間を捻出します。 ②教職員から働き方改革に対する様々なアイデアを募り、魅力ある職場づくりを推進します。	①会議については、各部署で協議内容の精選と集約方法の工夫を行っていたが、回数減には至っていない。②会議の持ち方の工夫や削減、ICTの有効利用を図りながら、働き方改革に努めた。主幹会にて会議の在り方の現状分析をし精選や縮小とともに「情報共有」の課題が残った。	B
学校関係者評価	○学校運営協議会を設置し「開かれた学校づくり」を推進できている。 ○GIGAスクール構想によるICT教育の推進に関して、進んでいる印象がある。 ○「人工呼吸器モデル事業」の取組は高く評価できる。保護者の付添い解消が図れたことは、素晴らしい事である。 ○コロナ禍において保護者や地域との連携に課題があるようだが、このようにWEBを使用したりと工夫する様子がみられている。 新しい取組を今後も継続してほしい。		
評価結果に対する学校の見解	令和3年度の学校の取組について、多くの部分で評価をいただいた。特にICT機器を使用しての授業支援はこの1年で取り組みが進んだ部分である。今後も「個別最適化」の学びに向け有効活用していきたい。また昨年途中から取り組みを進めてきた「人工呼吸器モデル事業」も保護者付添い解消を果たすことができた。学校運営協議会をはじめ東俣野小学校との交流など地域や関係機関との連携を図りながら学校運営を推進していきたい。		
学校経営中期取組目標振り返り	中期学校経営方針の3年目を終えた。今年度もコロナ禍での取組であったが「教育課程の再編」「人工呼吸器による保護者付添い解消」「ICT機器の使用しての授業支援」「学校運営協議会の設置」など成果を出すことができた。一方「危機管理マニュアルの作成」「教職員の働き方改革」等の取組は行ってきたものの、次年度以降の3か年計画で推進していく必要がある。		